

## 平成 27 年度第 1 回 沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[ 日 時 ]平成 27 年 4 月 14 日 (火) 19:10~22:20

[ 場 所 ]琉球大学医学部附属病院・がんセンター

[参加者 12 人]笹良剛史 (友愛会南部病院)、島袋恭子 (那覇市立病院)、喜納三津男 (きなクリニック)、比嘉宇郎 (北部地区医師会病院)、垣花真紀子 (宮古病院) skype 参加、栗山登至 (嬉野が丘サマリヤ人病院)、川田聡 (南部医療センター)、親泊美香 (ちばなクリニック点滴センター)、新屋洋平 (中部病院)、崎枝久美 (一日橋ケアセンター)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院) 増田昌人 (琉大病院がんセンター)

[欠席者 6 人]福地泉 (アドベンチストメディカルセンター)、伊藤昌徳 (エムシーマーケティング株式会社)、尾崎信弘 (八重山病院)、足立源樹 (那覇市立病院)、笠原大吾 (福寿薬局)、棚原陽子 (琉大病院)、

[陪席者 6 人]新里誠一郎 (浦添総合病院)、金城孝郎 (那覇市立病院)、井岡亜希子 (琉大病院がんセンター)、屋良看護師 (中部病院)、津嘉山看護師 (ちばなクリニック)、下地亜樹絵 (琉大病院がんセンター)

### < 報告事項 >

#### 1. 自己紹介について

- ・ 棚原委員より琉大の緩和ケアチームの専従看護師が 3 人になったとの報告があり、専従看護師の伊波華看護師より自己紹介があった。
- ・ 資料 4 に基づき、平成 27 年度緩和ケア部会委員で自己紹介を行った。
- ・ 那覇市立病院金城さんより今年の 11 月に開催される「がんリハビリテーション研修会」のアナウンスとその研修会に参加されると算定が取れるので参加して欲しいとの協力依頼があった。
- ・ 増田委員より、今年度は沖縄県から琉大あてに第二次がん計画の中間評価をする事になったため、大阪府立成人病センターより井岡亜希子医師が赴任してきたとの紹介があった。井岡医師より今後、第二次がん計画の中間評価業務を中心に、がん対策に取り組んでいきたいとの報告があった。

#### 2. 平成 26 年度第 4 回緩和ケア部会議事要旨について

資料 1 に基づき、増田委員より平成 27 年度第 4 回緩和ケア部会議事要旨について報告があり承認された。

#### 3. 第 3 回緩和ケアフォローアップ研修会の報告について

資料 2 に基づき、増田委員より平成 27 年 3 月 7 日 (土) に開催された緩和ケアフォローアップ研修会の報告があった。栗山委員より、参加者の意識が高く熱心であり、とても好評だったとの総評があった。

#### 4. 精神科医師の選考について

これまでの協議事項で緩和ケア部会に精神科医を委嘱する事について協議されていたが空席のままであった。資料 3 に基づき、増田委員より沖縄県がん診療連携協議会議長名で南部医療センターの精神科医へ委嘱依頼状を送付し、川田委員が緩和ケア部会委員になる事が承認されたとの報告があった。

## <協議事項>

### 1.平成 27 年度の部会長・副部会長及び部会委員について

資料 4 に基づき、増田委員より部会委員の任期は 1 年、毎年更新していくとの報告があった。今年度の部会長は、友愛会南部病院・笹良剛史先生が再任、副部会長には、中部病院・新屋洋平先生、嬉野が丘サマリヤ人病院・栗山登至先生が選ばれた。

### 2. 平成 27 年度ロジックモデルと事業計画、予算について

増田委員より資料 5 に基づき、ロジックモデルの説明があった。施策10.まで計画を立てていて終わっているものと終わっていないものがあり、終わっていないものが今年度の事業計画になるとの報告があった。資料 6 に基づき、本年度の予算は昨年と同じ予算で立てているとの報告があった。

### 3. 平成 27 年度沖縄県緩和ケア研修会開催について

沖縄県は今年度から新カリキュラムで開催する事が決定しているが、4 月現在緩和医療学会より運営、進行、プログラムが出てないため、後日（4 月 23 日）開催病院の研修会に参加した医師が集まり、作成する事になった。

中部病院から開催日程の変更があった。

### 4. 平成 27 年度の緩和ケアフォローアップ研修会について

評判のよい研修会の為今年度も開催する事で決定された。また、場所についても毎年県医師会館で開催しているが、てだこホールで開催すればもっと多くの参加者がくるのではないかと協議された。開催日時については今後決定次第、メールにて周知する事になった。

候補日①：2 月 7 日（日）

②：2 月 21 日（日）

③：2 月 28 日（日）

### 5. 「第二次沖縄県がん対策推進計画の中間評価」における緩和ケア関連領域とその目標指数の選定について

資料 8 に基づき、井岡先生が作成した緩和ケア推進 4 種類を合わせたたたき台をもとに、中間アウトカム、分野アウトカムの方向性について議論が行われた。

緩和ケア分野アウトカムは「がん患者とその家族ががんと診断された時から質の高い緩和ケアを受け、療養生活に満足している」となった。

中間アウトカムは「患者や家族が緩和ケアに関する知識や情報を持っている」「基本的な緩和ケアを実践できる人材がいる」「患者の状態や希望に応じて切れ目ない連携体制が整備されている」

これを基に、4 月 29 日開催のがん計画中間評価WGで作成し、後日メールで送信する事になった。

### 6. 痛みのスクリーニング及び除痛率の測定について

除痛率は琉大病院がセーフマスタのシステムを用いて実践されている。豊見城中央病院も i pad を使用していくための起案をしている所である。中部病院は今後電子カルテを導入していく予定だが、除痛率のシステムを入れていくかは未定である。

7. 沖縄がんサポートハンドブック 2015 年度版に緩和ケア普及啓発のためのリーフレット等を差し込む事について

資料 9 に基づき、がん診療主要病院で、リーフレットに「緩和ケアってしていますか」を挟んでもらい、普及啓発してもらう事になった。

8. 緩和ケア研修会修了者を患者とその家族に対して分かり易く情報提供することについて

がん診療連携拠点病院の義務として、・緩和ケア研修会修了者がピンバッジをつける事、HP に緩和ケア修了者名簿を載せること、正面玄関に緩和ケア研修会修了者名簿を掲示すること、全外来及び全病棟に緩和ケア研修会名簿を掲示すること。琉大病院では、緩和ケア研修会修了者名簿を A3 にし掲示する予定である。

9. 平成 27 年度の現況報告書の作成について

緩和ケアの部分のハードルが高いので意識して準備する必要があると協議された。

10. 次回の緩和ケア部会開催日程について

第一候補は平成 27 年 7 月 14 日（火）19:00～ となった。

11. その他

笹良部会長より、平成 27 年 11 月 14 日・15 日にリレー・フォー・ライフ沖縄うらそえが開催されるとの周知があった。